

10月19日 JCIJAPANグローバルユース国連大使が表敬 経験を糧にすばらしい八代を創造したい



JCI(公益社団法人日本青年会議所)が主催するJAPANグローバルユース国連大使に、本市から初めて任命された松本萌花さん(真和高校2年)が、北岡博教育長にこれまでの活動を報告しました。松本さんは「約半年間の研修で経験したことを糧に、八代や県のために活動していきたい」と話しました。

10月16日 笠松橋ボランティア清掃活動 地域の宝を美しく



日本遺産に認定された構成文化財の笠松橋のボランティア清掃が行われ、地元住民ら約20人が参加しました。参加者は鎌などを使い、石の間から伸びている草やツタなどを丁寧に取り除きました。参加した塚直幸さん(東陽町)は「日本遺産認定を活かし地域のにぎわいにつなげたい」と話しました。

10月19日 薬師堂の銀もくせい後継樹譲渡式 500年間親しまれた銀もくせいの苗木が里帰り



坂本町にあった市指定天然記念物の薬師堂の銀もくせいの後継樹譲渡式が行われ、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター九州育種場の平井郁明場長から苗木が贈られました。500年を超える樹齢遺伝子を受け継ぐ苗木は坂本町への植樹が検討されています。

10月19日 熊本県法人会連合会からの義援金贈呈 昨年引き続き2回目



熊本県法人会連合会の竹下英会長ら11人が市役所鏡支所を訪れ、令和2年7月豪雨災害の義援金を中村博生市長に贈呈しました。

同連合会は東日本大震災や熊本地震の被災地などにも寄付されており、本市への寄付は今回で2回目です。

10月28日 九電工グループが八代城跡石垣の除草作業 築城400年を前に石垣をきれいに



九電工グループの社員など約40人が国指定史跡八代城跡北の丸石垣の除草作業を行いました。これは同グループが地域の文化財の美化のためにボランティアで行っているもので、今年で53回目です。

参加者は高所作業車などを使って石垣に生えた草を鎌で丁寧に刈り取りました。

10月24日 みなとオアシス八代絵画コンクール表彰式 力作が勢揃い



みなとを核としたまちづくり「みなとオアシス」の認知拡大を目的に開催されたみなとオアシス八代絵画コンクールの表彰式がくまモンポート八代で開催されました。応募作品97点から最優秀賞を受賞した岡下実生さん(八代一中3年)は「クレーンの光と影の表現を見てほしい」と話しました。



Twitter



Facebook



市ホームページ

10月30日 NPO法人しらさぎの除草ボランティア活動 八代のシンボルをきれいに



NPO法人しらさぎが国指定史跡八代城跡本丸石垣の除草や清掃活動を行い、約70人が参加しました。これは地域貢献の一環として毎年行っているもので、今回で21回目です。参加者はロープで体を固定しながら、石垣や水際に生えた草などを手作業で取り除きました。

10月30日 全国初の顔認証による避難状況把握実証実験 デジタル技術で避難所状況を瞬時に把握



株式会社NTTドコモ九州支社と連携し、避難所運営の効率化を目的とした実証実験が宮地小学校体育館で行われました。これは全国初の試みで、事前に顔写真や個人の情報を登録すると、避難所入室時にAI顔認証が反応し、避難所の状況を瞬時に把握することができるようになります。

11月4日 イグサを使用したビール「HOPPIN' GARAGE IGUSA」 イグサの新たな活用



JAやつしろの山住昭二代表理事組合長やイナダ有限会社の稲田近善常務取締役ら関係者が、イグサを使用したビール「HOPPIN' GARAGE IGUSA」の完成を中村博生市長に報告しました。このビールには八代産の食用イグサパウダーが使用されており、ラベルには壺が描かれています。

11月2日 「クリぞう」プロジェクトチームから絵本の贈呈 たくさん子どもたちに読んでほしい



一般財団法人^{ふくほら}普久原未来のための事業団と崇城大学芸術学部の学生らで構成するプロジェクトチームが制作した絵本「クリぞう」が、市内の小学校と図書館に計334冊贈呈されました。この絵本には戦時中に疎開した人たちの経験や思いを後世に受け継いでいきたいという思いが込められています。

11月6日 アリーナ建設八代誘致準備委員会決起集会 八代にアリーナ誘致を



民間団体で構成する(仮称)「熊本県南アリーナ」建設八代誘致準備委員会がプロバスケットボールチーム「熊本ヴォルターズ」の本拠地アリーナ建設誘致の決起集会を新八代駅がめさん公園で開催しました。同委員会から市民や企業など4万8488人分の署名の目録が中村博生市長に手渡されました。

11月4日 ミセスオブザイヤー2021熊本大会グランプリ 魅力あふれる「かっこいい女性」にスポット



9月に行われたミセスオブザイヤー2021熊本大会のブリリアント部門でグランプリに輝いた岡崎千尋さん(古麓町)が、中村博生市長に結果を報告しました。この大会は女性の活躍やジェンダー平等の後押しを図るもので、岡崎さんは「何歳になっても楽しめることを伝えたい」と話しました。